2021.10

vol.12

特集
リュミエールミント

クローズアップ ui

ゆうあい

誰もが自分らしく
安心して暮らせる
温もりのある地域社会を目指して

社会福祉法人加島友愛会

http://www.kashima-yuai.or.jp

理事長平田純博の

進加論

障害のある子どもを持った親は、安心して死ぬことができるのか

社会福祉法人加島友愛会
理事長
平田 純博

1984年3月、加島に隣接する三津屋地区で親子心中事件が発生しました。介護していた実母が亡くなり49日の法要が済んだ後、ご主人と子ども2人の4人暮らしの母親が持病の腎臓病と肝臓病が思わしくなく、残したら可哀そうと思い余ったのか自閉症のある下の子どもを道連れに自死したものと思われます。

この痛ましい事件から37年の時が過ぎましたが、投げかけられた『障害のある子を残しては死ねない』現実は改善されたのでしょうか。

この痛ましい事件を契機に23名の親が集まり『加島・三津屋地区障害児を守る親の会』が発足、『親の会』は重度の障害児が通う福祉作業所『クローバー』の設置運営をしていました。子どもを通わせるため親はパートとの調整、家族の協力、学校の支援など様々なことをクリアしながら懸命に、パートの指導員と一緒に活動していました。こうした活動が実って、加島の解放運動と財団法人加島保育園による1991年の加島友愛会設立・知的障害者通所福祉施設加島希望の家開設に繋がったのです。

加島希望の家開設30年を迎える今日、養護学校高等部を卒業し加島希望の家に通所した18歳の子どもは48歳になります。45歳だった親は75歳になります。かく言う私も72歳になり、子どもは51歳になりました。加齢にともない障害が重度化する子ども、高血圧や糖尿病など持病を持った親は、高齢になれば要介護状態が進みます。加島友愛会の障害福祉サービスを利用している方総数643名のうち、年齢別でみると18～50歳が455名、50歳以上188名となっており、そこで親族家族のおおよその年齢層も推定できます。家族も高齢化にともない介護力が低下、いわゆる『50歳・80歳問題』が浮き彫りになります。

具体的には、加島希望の家の生活介護事業の通所者53名、障害者センターむつみの生活介護・就労継続B型事業の通所者48名の中で、40歳以上の障害者までみると59名となります。10年もすれば、少なくとも利用者の半数が『50歳・80歳問題』となってしまう事態となります。

親は、安心して死ねるのでしょうか。重い障害のため一般企業に就労が困難で、介護・支援なくしては生活ができない高齢を迎えた障害者の人権を守り、その人らしい暮らしを守るため国・行政の責任は当然のこと、他方私たちには何ができるのでしょうか、何をなすべきでしょうか。

地域密着型通所介護では「転倒せずに歩きたい」「外出できる体力や筋力をつけたい」「お風呂は一人で入りたい」「家での生活を続けたい」といった利用者本人の希望を叶えるための機能訓練サービスを提供します。
実践的な訓練を反復して、具体的な生活行為やそのための機能の向上や維持を図ります。

加島のひかるくん

地域密着型

要介護状態となった場合においても、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう生活機能の維持又は向上を目指します。

- 定員を制限していることから小規模デイサービスとも呼ばれています。
- 利用者一人ひとりの状況やニーズを把握し、サービスを提供します。
- 淀川区・西淀川区にお住まいの方が、利用できるサービスとなっています。

活動の主な内容

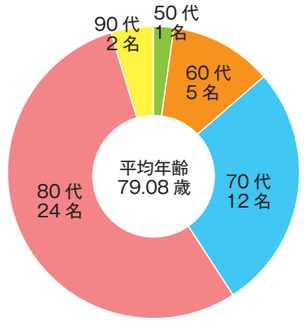
①機能訓練士（理学療法士）による訓練
②筋力強化訓練
③有酸素運動
④リラクゼーション

リュミエールミントの館内

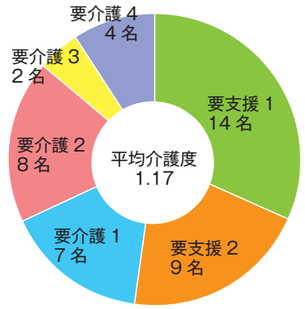
訓練の様子

（2021年7月16日現在）

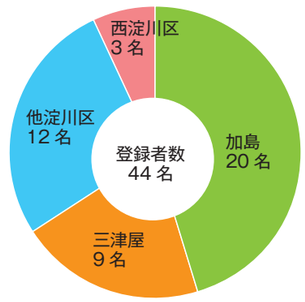
利用者年齢層



利用者介護度



利用者居住地



リュミエールミントの外観

会話と運動で心と体を「前」へ向ける 長引くコロナ禍、高齢者の「行き場」に

日ごとに明るくなる顔 もう一度自力で外へ出たい!

――皆さんの毎日のお仕事を教えてください。

城釜　私は介護職員として、現場でマシン訓練の誘導、案内などをしています。基本は機能訓練のデイサービスですが、ご自宅で一人で入浴されるのが大変な方など、入浴ご希望の方の介助もします。送迎にも出ています。

柏木　私も同様の仕事です。フロア内の見守り、安全なマシンの乗り降り、乗っている方への正しい動作のアドバイスなどもします。

渡部　私は管理者・生活相談員として、行政の届け出や各事業所のケアマネジャーさんとの意見交換や契約・請求などの事務的な仕事を担当しています。

――いま利用者のニーズはどのあたりにあるとお考えでしょうか?

渡部　新型コロナの感染が広がる昨年４月にオープンして、長引くコロナ禍で高齢者の行き場がなくなってきています。喫茶とか体操などの地域の取り組みもすべて中止になっていて、高齢者は外出を控えようという社会的な要請と、外へ出て体を動かさなくてはいけないという健康面での必要性との板挟みになっていると思います。運動の機会自体を奪われているなかで、弱っていく体力、筋力を維持していかなければという切実なニーズがあると思います。

筋力強化マシン

城釜　一人暮らしの方が体を動かさないといけないと思ってはいても、結局は一日中座っていたり、ベッドで横になっている生活になりがちです。「どこかに行ってやらないと体を動かせないのよね」という声も聞きます。自分の足で歩ける期間が長ければ長いほどいい、コロナが収まったらまた自分で出かけられるようになりたい、そういうことを目標や励みにしていらっしゃる方もおられると思います。ただ週１～２回の利用で筋肉がものすごく付くというわけではありません。それプラス、他の方との交流、ちょっとお話しするだけで気が晴れるとか、そういうところも大事かなと思います。

柏木　なかなか運動する機会が無いことに加えて、「普段の生活で困ることが増えてきて、今後の人生を生きていくうえで不安になっている」という消極的なご意見も聞きます。一人暮らしの方は誰かと会話する機会も少ないので、最初のころは皆さん緊張されるのですが、ご利用いただいているうちにどんどん表情が明るくなってきて自分から話しかける方も増えてきます。こういうところでしっかり活動していただいて、お気持ちの面でも前向きになれればよいですね。ただ、今まで利用してくださっていた方が、コロナ禍を気にしてやめたときには、自分の力不足を感じました。ワクチン接種も進んできたので、行ってみようかという気持ちになったときに今まで通りサポートできるよう準備はしています。

90 代も軽負荷で筋トレ 運動後はリラクゼーション

――運動をしすぎる人、逆にしたがらない人などいますか?

城釜　周りに影響されるんでしょうか、競争みたいになって一生懸命になり時には無理をされる方もいらっしゃいますね。

柏木　運動しすぎて疲れていそうな方には適度に休憩していただくよう声かけなどしていますが…。

城釜　ただ、運動の後にリラクゼーションルームでメドマーを使用して、空気圧や振動によるマッサージを受けていただいていますので、ほとんどの方が心地よい疲労を感じて帰っていかれますよ。

柏木　ここのマシンはフィットネスジムのように強い負荷をかけるのではなく、「軽い負荷と正しい動きで動かしたい筋肉を動かす、楽にできる運動ですよ」という説明をしっかりしているので、したがらない人はあまりいませんね。90 歳代の方もしていますし、しんどいという方には時間や負荷をこまめに調整しています。

送迎の様子

休憩スペース

メドマーによるマッサージの様子

――福祉の仕事をしてきてよかったと思うことはありますか?

柏木　介護の仕事をして 10 年ほどになりますが、「ここへ来るようになって元気になりました」「食事が美味しくなりました」そういう声を聞くと、この仕事をやってきてよかったと思います。しんどいことも多いけれどそれ以上にやりがいの部分が大きいですね。

城釜　利用者の変化や元気になっていく姿を見ていると嬉しいのですが、お気持ちに十分応え切れていないと感じる時もあります。でもまだこちらに来て１年なので、これから経験を積めばもっといろんなことが見えてくるのかな。若い人の力を借りながら一緒に頑張っていきたいと思います。

渡部　１年間やってきて、「最近、雰囲気が明るくなってきたね」「賑やかになってきたね」という声を少しずつ聞くようになりました。スタッフの皆さんの努力が結果としてあらわれてきたと感じています。

リュミエールミントの１日

8：30	午前の利用者の送迎
9：15	利用者の到着 お茶を飲んで一息
9：30	バイタル測定
9：45	体操
10：00	個別メニューの訓練開始 （筋力増強訓練、持久力・有酸素運動、作業療法など一つ一つをじっくりと行う） 理学療法士による機能訓練
12：00	リラクゼーションルームで空気圧や振動によるマッサージ
12：30	午前の利用者の送迎 その後午後の利用者宅へお迎え
13：15	利用者の到着 お茶を飲んで一息
13：30	バイタル測定
13：45	体操
14：00	個別メニューの訓練や理学療法士による訓練を個人に合わせた時間で行う
15：00	入浴する方は、小規模浴室での入浴
16：00	リラクゼーションルームでゆっくり過ごす
16：30	午後の利用者の送迎

午前利用時間　9：15～12：30
午後利用時間　13：15～16：30

作業療法の様子

体組成計

渡部芳徳
（わたなべよしのり）
管理者・生活相談員。2000 年に特養「加寿苑」入職。さまざまな視点から介護保険制度を学び 2020 年４月、現職場に異動。

城釜さおり
（じょうがまさおり）
介護職員。子育てが落ち着いた５年ほど前に初めて介護の仕事に携わり、2020 年４月入職。「自分ができることを見つける」を心がける。

柏木綾希子
（かしわぎあきこ）
介護職員。大学を卒業後、デイサービスなどの勤務を経て 2020 年入職。趣味は漫画、ゲーム、休日に近所を散歩すること。

Column　理学療法士　楠木莉奈

何をしたい?　困っていることは? 日常生活に視線を向けた訓練メニュー

病院勤務のときは「家へ帰る」を目的に患者さんと関わっていましたが、退院後の自宅での過ごし方が気になって…こちらに転職しました。

訓練メニューは一人ひとりの身体状況に合わせて作ります。利用者に面談して生活状況を聞き、何に困っているか、何をしたいか、どんなふうに一日過ごしているかなど聞かせてもらいます。中心はトレーニングや安全な日常生活動作の練習などで、家で行える簡単なトレーニングの提案もします。痛くて難しい動作があれば「こんなふうに動いたらやりやすいかも」などと動作指導もして、安全に生活が続けられ、体の機能が落ちないようサポートします。

利用者が「電車に乗って買い物に行きたい」と希望されれば、屋内外での歩行訓練もします。屋外では理学療法士が付き添い、周りへの配慮や不整地でも安全に歩く練習をします。安心して歩け、慣れることで、家に帰ってから自分でも出てみようとの意欲につなげたいですね。

デイサービスに理学療法士がいることのメリットは、福祉用具の選定も含め、日常生活に視線を向けて指導ができるところでしょうか。「こんなことができるようになった」「この前ちょっと外に出てみたの」「毎日散歩することにした」などの声も聞きますよ。

一人暮らしで引きこもりがちの方も多く、外出機会としてデイサービスを利用される方もいます。劇的な変化はあまりなくても誰かと交流するということも含めて、精神的な面で前向きになり、変化が見えてくると嬉しいし、やりがいを感じますね。

楠木莉奈
（くすきりな）
理学療法士。大学卒業後、回復期リハビリテーション病院にて４年間勤務。退院後の生活期リハビリに興味を持ち 2021 年２月、リュミエールミントへ入職。

番外編
若手職員紹介

「前よりうまくなったね」の声に励まされ —2020年度・新卒入職者座談会—

見学や「カフェ」で決める「しっかり聞ける」が成長の証

——皆さんの入職の動機や経緯、そして一年間を振り返って成長した点などお聞かせください。

北尻　高校の時、祖父を家族で看病していたのですが、家で看られなくなったときに介護の仕事が役に立つと周りからも勧められ、就職フェアで加島友愛会を見つけました。見学などさせていただき、職場の雰囲気もよいと思い、決めました。介護職の資格は短大で取りました。食事や排泄、入浴介助など介護全般に携わっています。

入居者への声かけがまだまだうまくできないのが課題です。ただ初めのころを知っている入居者から、「前より声掛けがうまくなったね」と言われたり、いろんな入居者と話ができるようになってきているので、一年前より成長したかなと思います。

小園　もともと障害者福祉に興味はあったのですが、大学の授業で「就労支援」という分野があることを知り、「こういうことを私はしたい」と思いました。中でも就労移行支援という障害者を一般就労に結びつける仕事がしたいと思い、就職フェアで探したのですが、なかなか正規職員で採ってもらえるところがなく、加島友愛会の方に「うちは就労移行もやってるよ」と声をかけてもらい、「おしごとcafe（カフェ）」に参加して話を聞き、ここで働きたいと思いました。

食事介助の様子（長谷川）

一般の職場で働くことを想定しての、もう一段踏み込んだ声かけや支援というのは入職前に考えていたよりも難しく大変でした。けれど一年を通して上司や先輩たちを見て、ここをまねしてみようと思ったり、わからなかったところを積極的に聞きに行き、支援に結びつけるよう頑張りました。年齢が離れている方たちとはコミュニケーションの取り方も難しかったのですが、自分からしっかり聞いていかないといけないと気づいてからは利用者にも上司にも話しに行けるようになりました。そこが成長したところかと思います。

比良　福祉の専門学校の実習でアンダンテ加島に来ました。来る前までは福祉というと高齢者が対象というイメージしかなく、「何で障害者施設で実習するのか」と疑問に思ったのですが、始まってみると楽しくて…。コミュニケーションも、会話だけでなく指さしとか物を掲示してとか、もしかしたら高齢者より障害者施設の方が自分に向いているかな…と思い始めました。とにかく楽しかったので、実習が終わってからもアルバイトさせてもらい、決めました。

最初のころは、見知らぬ私が指示を伝えても聞いてもらえなかったりしたのですが、次第に溶け込み信頼関係ができてくると、少しずつスムーズにいくようになりました。

長谷川　高校の福祉科に在学中、加寿苑でボランティア活動をしたのですが、入居者と職員の関わりが楽しそうで、自分もこういう仕事がしたいと思い入職しました。

仕事は加寿苑で入居者の生活の援助、食事や排泄の介助などですが、入居者との関係を築いていくのが大変でした。今は名前を覚えていただいたり、話しかけてくれて話もはずむようになって、関係が築けていっていると思います。

頭パンク…「手伝おうか?」笑顔の「ありがとう」嬉しい

——失敗したことやうまくいって嬉しかったことなどはありますか?

長谷川　いろんなことを任されるようになってきたのですが、頭がパンクしてしまい、「これはできたの?」と聞かれて「まだです」というようなことがありました。

軽作業などで入居者から「手伝おうか」とか言っていただくことがあります。些細なことでも声をかけてもらうとありがたいし嬉しいです。

北尻　認知症の方から「誰かに物を盗られた」と訴えられることがあり、そういうときの対応が一年経っても難しく、今も先輩に相談し教えてもらいながらやっています。

排泄介助の後などに笑顔で「ありがとう」と言われるのが嬉しいです。

比良　服薬忘れが一回あって、それが一番大きな失敗です。最後に全員が飲めたかを確認したら薬が残っていて…。それ以来ドキドキしながら服薬の作業をしています。

担当している方が夜間トイレに行くとき、遠くて転倒することが何回かあったんです。それを解決するために部屋にポータブルトイレを設置したのですが、「トイレに行くのが怖くなくなりよかった」と言われたときメチャメチャ嬉しかったです。

小園　利用者の思いに添いすぎるところが自分にはあり、波長を合わせすぎて切り替えができず、どうしたらいいか困って上司と一緒に対応してもらったことがありました。

入職したときから担当していた方が最近、清掃の職場に就職されたことがとても嬉しかったです。ルールを守る事が難しい方だったので、約束事を決めたり生活リズムのアドバイスなどしてしっかり関わり、就職面接も一緒に行きました。長く働くことができるよう就職後もフォローが続きます。

資格取り、仕事の幅広げ新たなステージへ

——これから挑戦したいことは何ですか?

北尻　まだまだできていないことが多く、先輩方に助けてもらいながら仕事をこなしている状態ですが、仕事を頑張りながら介護福祉士の資格を取りたいです。難しいと聞いていますが、3年働けば実務経験も加味されるので挑戦したいです。

小園　今はまだ施設の中で利用者の受注作業などをみることが主ですが、利用者が就職する企業を訪問してみたり、どういうふうに働いているか見に行くなどの機会を増やしていきたいです。本人の悩みや、どんな壁に突き当たっているかなど、話を聞いて、長く働き続けられるようフォローできたらと思います。意欲があって能力が付いてくればそういうこともさせてもらえるので頑張りたいです。

利用者とオセロをしている様子（比良）

検品作業の様子（小園）

比良　職場はアンダンテ加島の2階で、比較的高齢の方が多いのですが、これからは3階の比較的若い利用者とも関わっていきたいです。3階には体が元気だけど自閉症でスケジュールを使って生活している方が多く、そういう方たちの支援にも関わり、やれることの幅を広げていきたいです。

長谷川　福祉に関するいろんな資格を取りたいですね。精神面でもケアしたいので精神保健福祉士など…。加寿苑には精神的な障害のある方はあまりいないのですが、そういう方が入所されたときにも役立つようになりたいです。

加島友愛会の採用活動

新卒14名、戦略的な採用活動で

2019年の新卒者採用から、各施設代表者と本部事務局で構成する「採用戦略委員会」が採用活動を担うようになった。主な活動内容は就職フェアへの参加、施設見学会やおしごとcafe（カフェ）の実施など。19年2名、20年6名、21年6名を迎え入れた。

新卒採用実績

2019年2名（男性1名、女性1名）
2020年6名（男性2名、女性4名）
2021年6名（男性2名、女性4名）

採用活動内容

- 施設見学会　毎月実施
- おしごとcafe（カフェ）（先輩職員との座談会）毎月実施
- 就職フェア参加　年3回程度
  施設見学会・就職フェアについては2020年度からオンラインにも対応

採用活動流れ

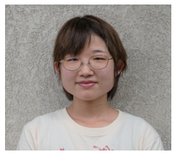
就職フェア
↓
施設見学会
おしごとcafe（カフェ）
↓
採用試験
↓
内定

入居者と談話の様子（北尻）

北尻星名
（きたじりせいな）
21歳。リュミエール加島所属。趣味は風景写真を撮ること。特技は細かな創作作業。

小園春花
（こぞのはるか）
24歳。かしま障害者センターLink所属。趣味はカフェめぐり。特技は美味しいごはんを美味しく食べること。

比良佳祐
（ひらけいすけ）
21歳。アンダンテ加島所属。趣味はツーリングと日本史の勉強。特技は7年間習っていたボクシング。チャームポイントは天然パーマ。



長谷川綾音
（はせがわあやね）
19歳。加寿苑所属。趣味は映画鑑賞、ご飯を作ること。特技は100均グッズを使って収納、掃除をすること。

誰もが自分らしく安心して暮らせる温もりのある地域社会を目指して

社会福祉法人
加島友愛会

〒532-0031
大阪市淀川区加島 1 丁目 60-36
TEL.06-6101-6601 FAX.06-6308-7299
e-mail 1991@kashima-yuai.or.jp
URL http://www.kashima-yuai.or.jp

ホームページは
こちら!

加島のあかりちゃん

❶かしま障害者センター

〒532-0031 大阪市淀川区加島 1 丁目 60-36
TEL.06-6308-7206 FAX.06-6308-7299

むつみ（生活介護事業・就労継続支援事業 B 型）
e-mail mutsumi@kashima-yuai.or.jp

地域生活支援部（障害者グループホーム）
e-mail kashima-chiikiseikatu@kashima-yuai.or.jp
●加島苑●セッション●チューリップ●あさがお
●カナリヤ●うぐいす●ひのき●トレフル

Link
（就労移行・就労継続支援事業 B 型・自立訓練・就労定着支援）
TEL.06-6308-7210 FAX.06-6308-7220
e-mail link@kashima-yuai.or.jp

障害者就労支援事業部
TEL.06-4805-2485 FAX.06-6308-7220
e-mail kashima_jc@kashima-yuai.or.jp

“COCOLO” 相談支援センター
（地域活動支援センター（生活支援型）・特定相談支援事業・一般相談支援事業）
TEL.06-6308-7209 FAX.06-6308-7220
e-mail cocolo@kashima-yuai.or.jp

❷ル・プラス（就労継続支援事業 A 型）

〒561-0843 大阪府豊中市上津島 1 丁目 4-3
TEL.06-6151-3701 FAX.06-6151-3810
e-mail re.plus@kashima-yuai.or.jp

❸加寿苑　特別養護老人ホーム

●特別養護老人ホーム●ショートステイ●診療所
●デイサービスセンター
〒532-0031 大阪市淀川区加島 1 丁目 34-8
TEL.06-6305-0711 FAX.06-6305-0773
e-mail kajuen@kashima-yuai.or.jp

ケアプランセンター　加寿苑
TEL.06-7651-1600 FAX.06-6305-0773
e-mail kajuen-kyotaku@kashima-yuai.or.jp

ホームヘルプセンター　加寿苑（高齢部門）
TEL.06-6306-6205 FAX.06-6305-0773

淀川区西部地域包括支援センター
TEL.06-6305-0737 FAX.06-6305-0738
e-mail yodogawa-seibu@kashima-yuai.or.jp

❹アンダンテ加島（施設入所支援・生活介護事業）

〒532-0031 大阪市淀川区加島 1 丁目 36-46
TEL.06-4806-6780 FAX.06-4806-6781
e-mail andante@kashima-yuai.or.jp

❺加島希望の家（生活介護事業）

〒532-0031 大阪市淀川区加島 1 丁目 49-21
TEL.06-6390-5666 FAX.06-6302-2551
e-mail kibou@kashima-yuai.or.jp

❻リュミエール加島　介護付有料老人ホーム

〒532-0031 大阪市淀川区加島 4 丁目 16-35
TEL.06-6308-7788 FAX.06-6308-7799
0120-087-322
e-mail lumiere@kashima-yuai.or.jp

リュミエールミント　機能訓練特化型デイサービス
TEL.06-6308-7797 FAX.06-6308-7799
e-mail lumieremint@kashima-yuai.or.jp

体験利用
受付中

❼ヘルパーステーション　トレフル（障害部門）

〒 532-0031 大阪市淀川区加島 4 丁目 16-34
TEL. FAX.06-6476-7185
e-mail trefle@kashima-yuai.or.jp

❽リベルテ加島　介護付有料老人ホーム

〒532-0031 大阪市淀川区加島 1 丁目 38-20
TEL.06-6305-5750 FAX.06-6305-5756
0120-991-707
e-mail liberte@kashima-yuai.or.jp

6 月
リニューアル
オープン

企画 法人機関誌検討委員会
蓬田高広、西岡剛、酒井夕姫、糸川純枝、
十倉伸二、山下修一、北村智之、辻川千博、
安間ゆか、北川将大、辻本由実、内田信也
編集協力 新島洋
デザイン 桐田博子
印刷（財）浪速振興会